



学びたい気持ちを 応援します

経済的に困難な学生を支援する
新しい制度をチェックしよう



注目!

2020年4月から新制度がスタート!

[対象] 住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生

授業料・入学金の
免除/減額



給付型奨学金の
支給



申請期間

2020年4月下旬 ~

① 学校ごとに締切日が異なるので確認を。

[対象となる学校] 大学・短期大学・高等専門学校(4年・5年)・専門学校

ポイントは次頁へ▶▶



新しい修学支援制度が始まります!

高校卒業後の進路を考えると、お金のことが気になる…話しにくいけど、大切なことです。お金の心配をせずに進学できるよう、保護者の方と一緒に調べてみましょう!

Point ①

対象になる学校は?

一定の要件を満たした、大学、短期大学、高等専門学校（4年・5年）、専門学校に通う学生が支援を受けられます。

進学を希望している学校が制度の対象になっているか、文部科学省のホームページで、調べてみましょう。



Point ②

どんな学生が対象になるの?

対象者
増

要件を満たす学生全員が支援を受けられます。高等学校や大学等ごとの人数制限（推薦枠）はありません。



世帯収入や資産の要件を満たしていること

住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯

基準を満たす世帯年収は、家族構成により異なります。



進学先で学ぶ意欲がある学生であること

成績だけで判断せず、レポートなどで学ぶ意欲を確認

進学後にしっかり勉強しなかった場合には、支援が打ち切られます。

① この他にも要件があります。詳しくはJASSOや文部科学省のホームページや、学校から希望者に配付される「給付奨学金案内」等で確認してください。

将来、社会で自立し、活躍できるよう、しっかりと勉学に励むことが大切です

Point ③

給付型奨学金の支給額は?

支給額
増

住民税非課税世帯（第Ⅰ区分）の場合は、下記の額が支給されます。
（住民税非課税世帯に準ずる世帯（第Ⅱ区分、第Ⅲ区分）の場合は、Point⑥へ）

給付型奨学金の支給月額

（住民税非課税世帯〈第Ⅰ区分〉の場合）

区分		自宅通学	自宅外通学
大学・短期大学・専門学校	国公立	29,200円 (33,300円)	66,700円
	私立	38,300円 (42,500円)	75,800円
高等専門学校	国公立	17,500円 (25,800円)	34,200円
	私立	26,700円 (35,000円)	43,300円



① 生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人は、カッコ内の金額となります。

Point 4

授業料・入学金のサポートは？

支援内容
新

新しい給付型奨学金の対象者は、別途、進学先の大学等に申込みことで、授業料と入学金の免除・減額を受けることができます。（住民税非課税世帯に準ずる世帯（第Ⅱ区分、第Ⅲ区分）の場合は、Point⑥へ）

授業料等の免除・減額の上限額(年額)

(住民税非課税世帯〈第Ⅰ区分〉の場合)

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	約 28万円	約 54万円	約 26万円	約 70万円
短期大学	約 17万円	約 39万円	約 25万円	約 62万円
高等専門学校	約 8万円	約 23万円	約 13万円	約 70万円
専門学校	約 7万円	約 17万円	約 16万円	約 59万円



❗ 「入学金」の免除・減額を受けられるのは、入学月から支援対象となった学生です。夜間部や通信教育課程の場合は、これとは別の額になります。

Point 5

世帯収入によって支援を受けられる額が変わるの？

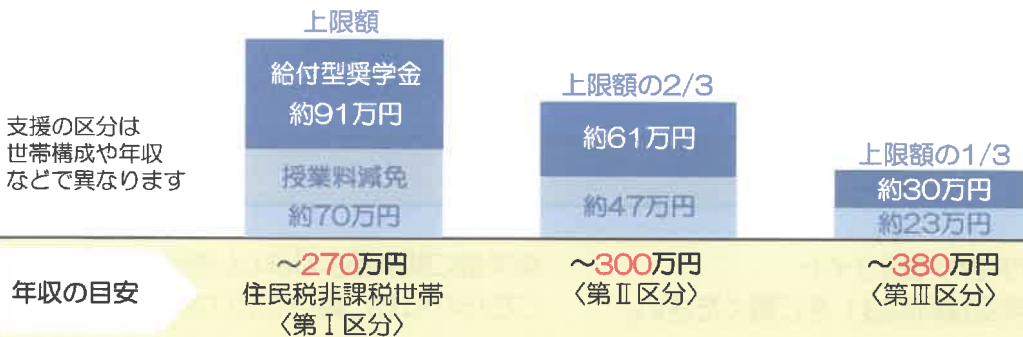
世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決まります。

例 4人家族〈本人(18歳)・父(給与所得者)・母(無収入)・中学生〉で、
本人がアパートなど自宅以外から私立大学に通う場合の支援額(年額)

進学資金
シミュレーター



自分が支援の対象になるか調べてみよう。



❗ 毎年6月に更新される所得(住民税)情報で区分が判定されるので、例えば高校生のときに申し込んで対象外だった場合も、進学後(秋以降)に申し込んで支援対象となる可能性があります。

主なスケジュール

2021年4月から支援を受けようとする場合のスケジュールは次のとおり

事前に	準備	本人	文科省学省やJASSOのサイトで、制度の詳しい内容や自分が対象になりそうかを確認してみよう。「対象かも」と思ったら学校から申込書類をもらいましょう。
2020年4月~	給付型奨学金申込み	本人	学校に必要な書類を提出し、インターネットで申し込みましょう。また、マイナンバー(本人分・保護者分)をJASSOに提出します。
10月頃	通知	JASSO	支援の対象になったら通知が届きます。(予約採用の候補者決定通知) JASSOから給付型奨学金の支援対象として認められた人は、進学後に別途申し込むことで、大学等の授業料・入学金の支援も受けられます。
2021年4月	進学届減免申込み	本人	支援の対象になる学校に入学したら、インターネットで進学届を提出します。授業料・入学金の減免は、進学先の学校へ申込みします。
	支援の開始	JASSO 学校	奨学金の最初の振込は4月または5月です。授業料や入学金も減免されます。

❗ 申込期間は学校により異なります。給付型奨学金(予約採用)の申込期間は高校に、授業料・入学金の減免の申込期間は進学先の学校に、それぞれ確認してください。

Q & A

Q 支援を受けられるかどうかは、誰の収入で決まるのですか。

A. 原則、本人と父母（父母がいない場合は、代わって生計を維持している者）の収入や資産を確認して、支援対象かどうか決まります。

Q 新しい給付型奨学金とあわせて、貸与型奨学金を借りることはできますか。

A. 新制度は、授業料等の減免と給付型奨学金をセットで受けることで今までより支援が充実しますので、第一種奨学金（無利子）は、新制度の支援区分（第Ⅰ区分～第Ⅲ区分）に応じて、貸与を受けられる金額が制限されます。
第二種奨学金（有利子）は、希望する額を利用できます（新制度を受ける場合の制限はありません）。

Q 申込みを行う際に、準備しておくことにはどのようなことがありますか？

A. 奨学金の申込みには本人と父母（父母がいない場合は、代わって生計を維持している者）のマイナンバーの提出が必要になります。マイナンバーカードを持っていない人は通知カードがあるか確認しておきましょう。

information

i くわしい情報はこちら

まずは、文部科学省の特設サイト
「高等教育の修学支援新制度」をご覧ください。



<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>

奨学金に関するより詳しい情報は、
こちらからもご覧いただけます。



「奨学金の制度（給付型）」
日本学生支援機構 奨学金ホームページ
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/kyufu/index.html>

i 支援内容や手続きなどについて、誰かに相談したいときは・・・

奨学金の貸与型、給付型、返還に関する
相談を受け付けています。

日本学生支援機構 奨学金相談センター

電話：0570-666-301（月～金、9時～20時）

※ 土日祝日、年末年始を除く ※ 通話料がかかります。

お電話の前に、まずは、
特設サイト「高等教育の修学支援新制度」をご覧ください。

奨学金の申込手続きは在学中の学校で行います。

- 手続きのスケジュールや個別の提出書類は、
在学中の学校に相談してください。
- マイナンバー提出については
「マイナンバー提出に関する専用コールセンター」
（申込関係書類の封筒の中に入ってます）に
相談してください。



あなたの夢を応援します。JASSOの奨学金。

2021年度(令和3年度)
進学予定者用

奨学金 ガイドブック

2020

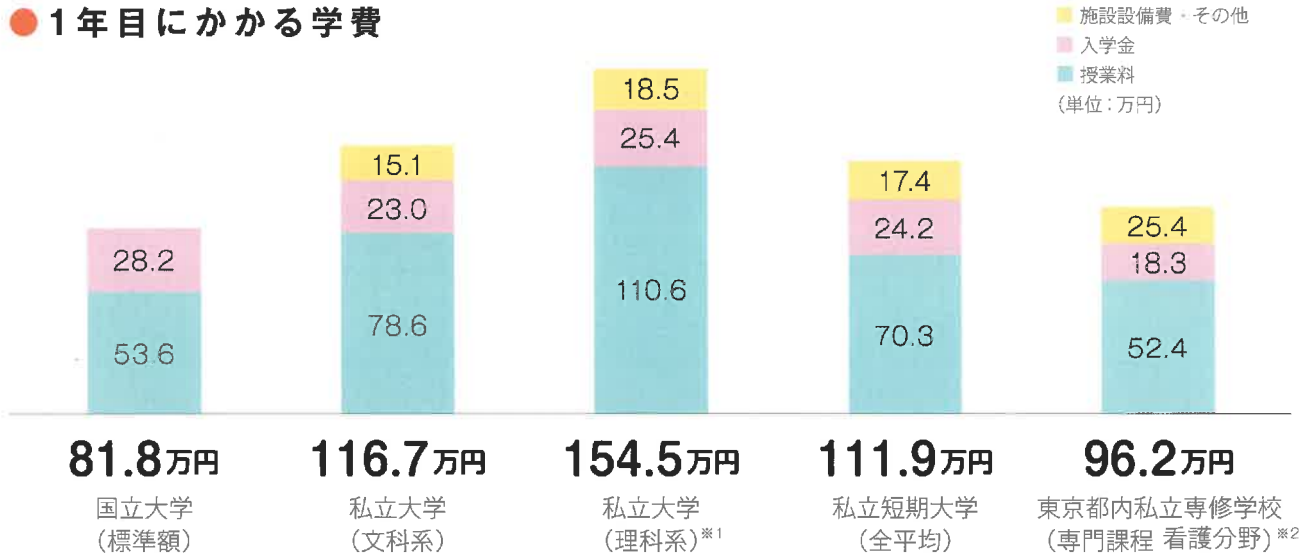


- 【調べてみよう】進学したい学校は、どのくらいお金が必要? … P1
- 【調べてみよう】学費等をサポートしてくれるものは? … P2
- 日本学生支援機構の「給付奨学金」のご案内 … P3
- 日本学生支援機構の「貸与奨学金」のご案内 … P4
- 先輩奨学生からのメッセージ … 裏表紙

【調べてみよう】進学したい学校は、どのくらいお金が必要？

大学などで修学するには、入学金や授業料をはじめ、学生生活の費用などがかかります。
その費用は、保護者に負担してもらったり、アルバイトをして自分でまかなったりしなければなりません。

● 1年目にかかる学費



国立大学については国が示す平成30年度標準額、私立大学・短期大学については平成30年度昼間部の平均額です。(文部科学省資料より)
東京都内私立専修学校(専門課程 看護分野)については平成30年度の平均額です。(公益社団法人東京都専修学校各種学校協会調べ)

*1 医歯系は含みません。医歯系の初年度納入金額平均は482.2万円です。

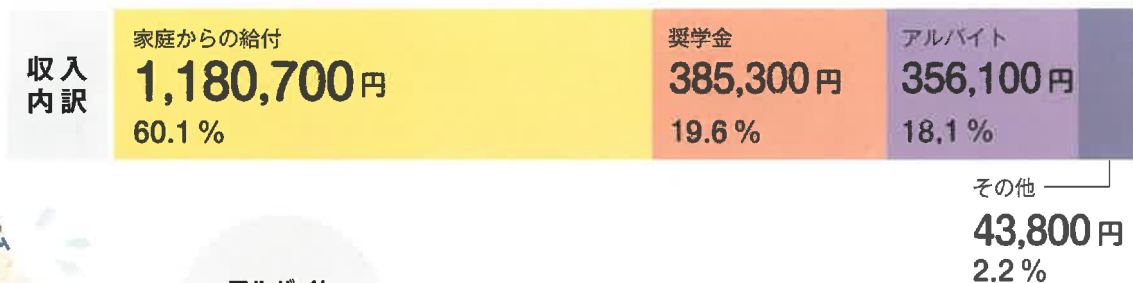
*2 四捨五入の関係で、合計において必ずしも一致しません。

● 学生生活費1年間の内訳

1年間の支出平均 (大学学部昼間部) **1,884,200円**
 自宅から通う学生の平均支出 **1,667,200円**
 アパートや下宿などから通う学生の平均支出 ... **2,201,000円**



1年間の収入平均 (大学学部昼間部) **1,965,900円**



(日本学生支援機構「平成28年度学生生活調査結果」より)

【調べてみよう】学費等をサポートしてくれるものは？

いろいろなサポートがあるので、進学前によく調べてみましょう。

奨学金 学生本人に対して学資金をサポートする制度です

いろいろな団体で行っています。

奨学金制度を行っている団体

日本学生支援機構 地方公共団体 育英団体 学校

奨学金には2種類あります。

■ **給付型奨学金** — 原則として返す必要がないもの

■ **貸与型奨学金** — 返さなければいけないもの

貸与型奨学金は返す時に、利息が付かないもの（無利子）と、利息が付くもの（有利子）があります。

貸与型奨学金は、進学後に本人が月々受け取り、卒業後に本人が返すものが主流です。

授業料等減免制度 入学金や授業料など学費の一部または全部が免除される制度です

入学試験の成績優秀者を対象とするものや、経済的困窮者を対象とするものなど、学校によってさまざまです。



奨学金や授業料減免制度の検索システム

JASSOホームページ「大学・地方公共団体等が行う奨学金制度」

https://www.jasso.go.jp/about/statistics/shogaku_dantaiseido/index.html

奨学金制度検索

検索



教育ローン 保護者などが金融機関から借り入れます

日本政策金融公庫の国の教育ローンやその他金融機関の教育ローンがあります。

日本学生支援機構の貸与奨学金と一般的な教育ローンとの比較

	日本学生支援機構の貸与奨学金	一般的な教育ローン
誰が借りる？	学生本人	保護者等
基準は？	保護者の収入が一定額以下	保護者の収入が一定額以上
借り方は？	在学中、月々	契約成立次第、一括で
いつ返す？	卒業後	借りた翌月から
利息は付く？	無利息と、利息付（在学中は無利息）があります	貸付と同時に利息発生
どのくらいの利息？	利率固定方式：年0.156% 利率見直し方式：年0.004% (2019年12月末貸与終了者) ※利率は年3%を超えないよう法令で定められています	政府系金融機関：年1.26%（母子家庭等） または年1.66%（その他） A銀行：2.975%（担保あり） または年3.475%（担保なし） (2020年1月現在)

いろいろ違いがあるのね



日本学生支援機構の「給付奨学金」のご案内

住民税非課税世帯及びそれに準じる世帯の人を対象とした原則返還不要の奨学金制度です

2020年4月から高等教育の修学支援新制度がスタートします。

給付奨学金の支給対象の学生は、授業料・入学金の減免(減額または免除)も併せて受けることができます。

制度の詳細や最新の情報については文部科学省のホームページをご覧ください。

<https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm>



学力基準と家計基準

学力基準	家計基準
	「収入基準」と「資産基準」のいずれにも該当する必要があります
① 申込時までの高校等の成績の平均が5段階評価で3.5以上	① 収入基準【両親・本人(高校生)・中学生の4人世帯の場合の目安】 【第Ⅰ区分】家計収入(年額)が271万円以下(非課税世帯) 【第Ⅱ区分】家計収入(年額)が303万円以下 【第Ⅲ区分】家計収入(年額)が378万円以下 ※基準を満たす家計収入は家族構成等により異なります
② ①に該当しない場合、将来、社会で自立し、及び活躍する目標を持って、進学しようとする大学等における学修意欲を有すること	② 資産基準 奨学金申込者本人と生計維持者(2人)の資産額の合計が2,000万円未満(生計維持者が1人のときは1,250万円未満)であること

大学等への入学時期に関する基準

高校を初めて卒業した日の属する年度の翌年度の末日から大学等へ入学した日までの期間が2年を経過していないこと

(例えば、2021年3月に高校を卒業する場合、2024年3月末までに大学等へ入学する人が対象となります。)

対象となる学校

給付奨学金の支給を受けられる学校は、国や地方公共団体から一定の要件を満たすことの確認を受けた学校(大学・短期大学・高等専門学校(4~5年)・専修学校(専門課程))です。

確認を受けた学校の一覧(文部科学省ホームページ)

https://www.mext.go.jp/kyufu/support_tg.htm



保護者の方と確認してみてね



申込時期 「予約採用」と「在学採用」があります。

予約採用	在学採用
高校3年生の春頃に、在学する高校で申し込む 【窓口】在学する高校 ※予約採用は、進学先が未定でも申込みができ、 進学後の奨学金を予約できて安心です	進学後の春または秋頃に 進学先の学校で申し込む 【窓口】進学先の学校

支給金額 収入基準に基づく区分(第Ⅰ～Ⅲ区分)、学校の設置者、通学形態により決まります。

区分	大学・短期大学・専門学校				高等専門学校			
	国公立		私立		国公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
第Ⅰ区分	29,200円	66,700円	38,300円	75,800円	17,500円	34,200円	26,700円	43,300円
第Ⅱ区分	19,500円	44,500円	25,600円	50,600円	11,700円	22,800円	17,800円	28,900円
第Ⅲ区分	9,800円	22,300円	12,800円	25,300円	5,900円	11,400円	8,900円	14,500円

※生活保護世帯で自宅から通学する人及び児童養護施設等から通学する人は、上表と異なる月額となります。
 ※給付奨学金と併せて第一種奨学金を利用する場合は、第一種奨学金の貸与月額が調整されます。



進学資金シミュレーター

いくつかの質問に答えると、進学後の生活費がいくらかかるのか、世帯人数や家計収入を入力すると、どの奨学金が利用できるか、給付奨学金の収入基準のおおよその目安を確認できます。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>



進学資金シミュレーター

日本学生支援機構の「貸与奨学金」のご案内



日本の大学生の2.7人に1人が利用している国の奨学金制度です

日本学生支援機構の貸与奨学金は、自分で借りて卒業後に自分で返していく奨学金です。

学力基準と家計基準

貸与奨学金には「第一種奨学金」と「第二種奨学金」の2種類があり、それぞれの基準があります。(詳しくは日本学生支援機構のホームページをご覧ください)

第一種奨学金(無利息)

学力基準

申込時までの高校等の成績の平均が
5段階評価で**3.5以上***

家計基準【4人世帯の場合の目安】

家計収入(年額)が
747万円以下

※住民税(市区町村民税所得割)非課税世帯・生活保護受給世帯の学生または社会的養護を必要とする人(児童養護施設入所者等)には緩和された基準が適用されます。

第二種奨学金(利息付)

・在学中は無利息
 ・利率固定方式:年0.156%、利率見直し方式:年0.004%(2019年12月末)

学力基準

家計基準【4人世帯の場合の目安】

次のいずれかに該当すること

- ① 申込時までの高校等の成績が学校の平均水準以上であること
- ② 特定の分野において特に優れた資質能力を有すると認められること
- ③ 学修意欲があり学業を確実に修了できる見込みがあると認められること

家計収入(年額)が
1,100万円以下

申込時期 「予約採用」と「在学採用」があります

予約採用	在学採用
高校3年生の春頃に、在学する高校で申し込む 【窓口】在学する高校 ※ 予約採用は、進学先が未定でも申込みができ、 進学後の奨学金を予約できて安心です。	進学後の春頃に、進学先の学校で申し込む 【窓口】進学先の学校 ※秋頃にも実施する場合があります。

貸与金額 毎月、本人の口座に振り込まれます

	大 学				短期大学・高等専門学校(4・5年生)・専修学校(専門課程)			
	国公立		私立		国公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
その他の月額				50,000円				50,000円
	30,000円	40,000円	30,000円	40,000円	30,000円	40,000円	30,000円	40,000円
	20,000円	30,000円	20,000円	30,000円	20,000円	30,000円	20,000円	30,000円
	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円

- ※ 家計収入(年額)が一定額以上の場合は、各区分のその他の月額から選択します。
- ※ 2020年度以降に奨学生となる方から給付奨学金と併せて利用する場合は、上表の月額が調整されます。

第二種奨学金(利息付)

2万円～12万円(1万円単位)

- ※ 私立大学 医・歯学課程12万円を選択した場合、4万円の増額可
- ※ 私立大学 薬・獣医学課程12万円を選択した場合、2万円の増額可

- ※ 「入学時特別増額貸与奨学金(一時金・利息付)」(10万、20万、30万、40万、50万円から選択)があります。
日本政策金融公庫の「国の教育ローン」が借りられなかった世帯が対象になります。

いくら借りたらいくら返すのか
シミュレーションできるよ



奨学金貸与・返還シミュレーション

<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>

返還シミュレーション

検索



日本学生支援機構の奨学金の申込みにはマイナンバーが必要です

日本学生支援機構では、法令に基づき、マイナンバーを利用して奨学金に関する各種手続きに必要な収入に関する情報等を行政機関間の情報連携により取得します。

マイナンバーをご提出いただくことで、奨学金申込時の所得証明書など、これまで手続きに必要なだった証明書類の一部をご用意いただく必要がなくなります。

- ※ 奨学金の申込みに必要な提出書類の詳細は、奨学金案内等をご覧ください。

奨学金の返還について 困った時の救済制度があります

返還は卒業後7か月目から始まり、毎月、口座から引落とされます。

病気・災害・経済困難などで返還が難しくなった時には、以下の救済制度があります。

救済制度の利用には願い出が必要なので、返還に困ったら奨学金相談センターに相談しましょう。

返還に困ったら、
すぐに相談!

減額返還制度

- ・ 月々返還する金額を1/2または1/3に減らすことができます。
- ・ 減額返還適用期間に応じた分の返還期間を延長して返還します。返還予定総額は変わりません。

返還期限猶予制度

- ・ 月々の返還を先送りすることができます。
- ・ 先送りした分、返還完了が先に延びます。返還予定総額は変わりません。



返還方式が選択できます! (第一種奨学金のみ)

「定額返還方式」または「所得連動返還方式」

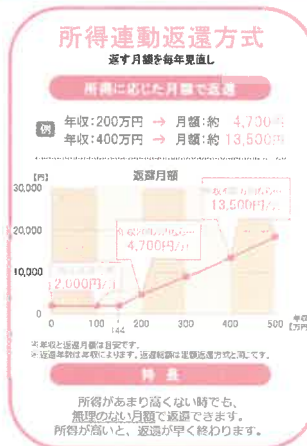
「定額返還方式」は、借りた総額に応じて月々の返還額が算出され、返還完了まで定額で返還する制度です。

「所得連動返還方式」は、貸与終了後の収入・所得に応じて返還額が変動するため、無理なく奨学金の返還を続けていくことができます。

「所得連動返還方式」を選ぶ場合は、機関保証(保証料が必要)となります。

なお、「所得連動返還方式」を選択された方は、減額返還制度を利用することはできません。

※ 詳しくは、JASSOのホームページをご覧ください。



参考) 日本学生支援機構の貸与奨学金を借りて、返還が終わるまで

月額5万円(第二種奨学金 利息付)、大学4年間奨学金を借りたAさんの場合



[Aさんの返還明細]

借りた総額	2,400,000円 (5万円×48か月)
返還期間	15年間 (月賦返還回数 180回)
返還総額	2,430,093円 〔内訳〕 元金 2,400,000円 利息 30,093円 (2019年12月末の年利率0.156%で計算※)
月々の返還額	13,500円 (最終回 13,593円)

※ 利率は、国の財政融資資金の借入金利に連動しています。(ただし、上限年3%)

先輩奨学生からのメッセージ



私は授業料や家賃などの費用面で両親にできるだけ負担をかけることなく進学するため奨学金を利用しました。奨学金を利用することで学費や生活費に対する不安を抑えることができたため有意義な学生生活を過ごすことができました。奨学金は目標に向かって頑張る学生を支援する制度なので上手な活用法を検討してみてください。

加藤 丈晴 さん

広島大学総合科学部(2015年卒業) アクセンチュア株式会社 勤務



大学卒業を目の前にした時には、まだ何かを掴めたような感覚がなく、私の場合は大学院の2年間で必死に勉強しその後の人生の核となる音楽に出会えました。

大学院へは奨学金のおかげで進学できたのです。ぜひ一生懸命に今を重ねてください。きっと卒業後の人生の方がずっと長いのですから、学生時代の経験は宝物となります。

山元 香那子 さん

国立音楽大学大学院(2009年卒業)

ピアニスト(一般社団法人音の花束代表理事、BS日テレ日本こころの歌専属ピアニスト)

日本学生支援機構の奨学金制度について詳しく知りたい時は、
ホームページをご覧になるか、奨学金相談センターにお問い合わせください。

日本学生支援機構 ホームページ

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/>

奨 学 金

検 索



日本学生支援機構 奨学金相談センター



0570-666-301 (ナビダイヤル・全国共通)

月曜日～金曜日 9時00分～20時00分 (土日祝日・年末年始を除く)

海外からの電話、一部携帯電話、一部IP電話は
専用ダイヤル **03-6743-6100** をご利用ください。

※貸与・給付奨学金に関する手続きのスケジュール等については在学する学校にご確認ください。
※高等学校卒業程度認定試験合格者・科目合格者・出願者の方が「予約採用」に申し込む場合は、ホームページを参照のうえ、日本学生支援機構にお問い合わせください。